絶対積極

真志喜中学校だより
第7号
令和8年10月5日

【教育目標】
豊かな心で 自ら学び たくましく
国際社会を生きる 生徒の育成
～心を鍛える・頭を鍛える・体を鍛える～
※本校で育成する力「自律」×「協働」×「共創」

実りの秋を迎えて
～挑戦のプロセスが育む真中生の確かな成長～

朝夕に秋の気配を感じる季節となりました。保護者の皆様には、日頃より本校の教育活動に温かいご理解とご協力をいただき、ありがとうございます。

この夏から秋にかけて、真志喜中の生徒たちは、部活動やコンクール、検定など、それぞれの目標に向かって挑戦してきました。先日の全校朝会では、名前が次々と呼ばれ、予定していた20分間では足りなくなるほど、多くの生徒が表彰されました。賞状を受け取る生徒たちの誇らしげな表情と、それをたたえる仲間からの大きな拍手が、とても印象的でした。



私が何より嬉しく思うのは、表彰という「結果」だけではありません。目標に向かって努力を重ね、失敗を恐れず、仲間と支え合いながら乗り越えてきた「プロセス」です。「踏み出せた」「挑戦できた」、そして「達成できた」。そうした日々の小さな変化の積み重ねの中にこそ、子どもたちの確かな成長があります。

そして、その挑戦を支えてくださっているのが、ご家庭の皆様です。日々の温かな励ましや見守りが、子どもたちの挑戦を後押しする大きな力となっています。改めて、心より感謝申し上げます。

10月を迎え、今年度も後半に入りました。これまでの経験を自信に変え、さらに一歩踏み出していけるよう、これからも学校全体で一人一人の成長を温かく支えて参ります。

宜野湾市短期留学報告会

9月4日(金)、「宜野湾市中学生短期海外留学派遣事業」の報告会が開催されました。本校からは、3年生の片山莉里さんと宮里仁藍さんがシアトル(米国)へ派遣され、現地での貴重な体験や学び、そして自身の成長について、流ちょうな英語で堂々と発表しました。



片山さんは、多様な人々が互いを尊重し、共に生きる姿に感銘を受けたそうです。周囲の優しさに支えられ、最初は不安だった英語でのコミュニケーションも、「間違えてもいいから、どんどん話しかけよう!」と、次第に自信を持って話せるようになり、さらに英語が好きになったと語ってくれました。

宮里さんは、アマゾンやマイクロソフトで働く方々、そして真志喜中の大先輩である上原さん(ワシントン州沖縄県人会長)のお話を聞いたことが、特に心に残ったそうです。異文化の中で世界の広さや素晴らしさを肌で感じたことで、自分の将来や生き方について深く考える、貴重な機会となりました。

二人にとって、この夏の挑戦は、将来へ向けた確かな一歩となりました。温かく送り出してくださった保護者の皆様をはじめ、二人の挑戦を支えてくださった皆様のご支援があってこその経験です。

第30回定期演奏会

9月19日(土)、第30回真志喜中学校吹奏楽部定期演奏会が開催されました。当日は、たくさんの保護者や地域の皆様にご来場いただき、会場は温かな拍手と笑顔に包まれました。



9月12日(土)に開催された県マーチングフェスティバルでは金賞を受賞し、九州大会への派遣も決まった吹奏楽部。この日のステージでも、これまでの練習の成果を存分に発揮し、心のこもった素晴らしい演奏を届けてくれました。また、3名の顧問の先生方も演奏に参加し、生徒たちと先生方が一緒になって音楽を楽しむ姿が印象的でした。さらに、西原高校吹奏楽部の皆さんによる友情出演・コラボレーションもあり、会場は大いに盛り上がりました。

30回という節目を迎え、改めて感じたのは、先輩から後輩へ受け継がれてきた「伝統」の素晴らしさです。演奏の技術だけでなく、音楽を楽しむ心、仲間を大切にする思い、みんなで一つのステージをつくり上げる力。30年間の思いが、今の生徒たちの演奏にもしっかりと受け継がれていました。

吹奏楽部の皆さん、最高のステージをありがとう!これまで支えてくださった保護者、地域の皆様、先生方にも、心より御礼申し上げます。

10月の主な行事

9日(金)校内研修(研究授業)
12日(月)公休日(スポーツの日)
13日(火)・14日(水)3年学力調査
14日(水)学校運営協議会
19日(月)駅伝選手激励会
22日(木)iチェック(1・2年)
23日(金)漢字検定
24日(土)**地区駅伝競走大会**
29日(木)**合唱コンクール**
30日(金)表彰朝会(合唱コン)
30日(金)英語ストーリーコンテスト